

会議録

会 議 の 名 称	令和6年度あま市自殺対策ネットワーク会議
開 催 日 時	令和6年8月2日(金)午後2時00分～午後2時45分
開 催 場 所	あま市役所 2階 B会議室
議 題	(1) 副会長の選任について (2) あま市自殺対策事業の推進について (3) 意見交換
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ あま市自殺対策ネットワーク会議 委員名簿 ・ あま市自殺対策ネットワーク会議 配席図 ・ あま市自殺対策事業の推進について ・ 【資料1】あま市の自殺に関する統計 ・ 【資料2】あま市自殺対策関連事業重点施策 ・ 事前質問事項に対する回答 ・ あま市自殺対策ネットワーク会議 要綱 ・ 啓発リーフレット「困ったときの相談窓口」(校正刷り) ・ 啓発資材「反射ロールバンド(あま安心ダイヤル)」
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	0人
出 席 委 員	横井寿委員、覺前淳委員、宇佐美敏委員、恒川和宏事務局長(服部章平委員代理)、近藤哲夫委員、武藤二三夫委員、廣潤一委員、青山亜由美課長補佐(戸田輝子委員代理)、安藤正範委員、上之典子委員、村岡好久委員、伊藤義剛委員
欠 席 委 員	服部章平委員、井村なを子委員、木村孝志委員、田中裕美委員、戸田輝子委員
事 務 局	吉川子ども健康部長、上村子ども健康部次長兼健康推進課長 加藤主幹、濱嶋主幹、角田課長補佐、松下課長補佐、森係長

会議録(要旨)

議事進行：会長

1 あいさつ

会長

2 委員の紹介

委員名簿のとおり

3 議題

(1) 副会長の選任について

副会長 横井寿委員

(2) あま市自殺対策事業の推進について

下記の会議資料について事務局より説明

- ・「あま市自殺対策事業の推進について」
- ・「【資料 1】 あま市の自殺に関する統計」
- ・「【資料 2】 あま市自殺対策関連事業重点施策」
- ・「事前質問事項に対する回答」

(3) 意見交換

廣潤一委員

最近の自殺取扱い事案の多くに、家族内での交流がない引きこもりで家庭内孤立状態が多く感じる。オーバードーズの取り扱いも増加している。保健所を通じ医療機関や関係機関へ促している。今後も積極的に関係機関と連携をしていきたい。

安藤正範委員

自損行為として警察へ連絡を取り救急出動。令和 4 年は 30 件、令和 5 年は 43 件と 13 件の増。今年は現在で 30 件の救急出動。年齢別では 30～50 歳台の働き盛りの多い。(軽症中等症含む) 傷病者の既往歴に、こころの病で医療機関にかかられている方が多い。SNS やリーフレットの設置など相談しやすい環境整備、相談窓口の必要性を感じる。今後も各関係機関と連携していく。

上之典子委員

配布資料「困ったときの相談窓口」のアルコールに関する相談窓口が 16 時半までですが、断酒会は 24 時間相談可能です。リーフレットに掲載していただけないか。

事務局

今年度に関しましては、最終校正終了のため掲載出来ません。今年度のアルコールに関する啓発の機会に周知するように努めます。

覚前淳委員

事前質問の回答書に自殺された方が手帳を持っているかを把握していないとあるが、市としては自殺された人に対して情報収集可能と思うが持っていないのか。手帳の有無、精神科の通院歴など一歩踏み入れば把握可能ではないか。振り返る時にそのような情報が多いほど分析が出来るし、どうやって治療に繋げるかの材料になる。個人情報でいうと何もわからないような感じになってしまう。

また、遺族のフォローアップ、支援も必要になってくるが、アプローチするうえでも先ほどのいろいろな情報を持たないと入るきっかけなり入口が見つからない。「市が」という響きが一番介入しやすい公の立場の気がする。直接的に無理でもそういう方向性を作っていたければ、我々も協力できる。遺族への取り組みはあるのか。よろしくお願いしたい。

事務局

現状、健康推進課では、自殺者の特定や自殺された方の手帳の有無、受診の有無の把握は不可能。遺族への支援に関しましては、相談があれば対応していくところですが、今のところ相談は入っていません。

貴重なご意見ありがとうございました。今後関係課に確認等し検討させていただきますので、その際はご相談させていただきます。

- 4 その他
- 特に無し